

刊 タ

## 小野君へ贈る（中）

「黒土會」吉澤生

時代は移る、そして社會は刻々と尖鋭化し文明は急速に進展する。荷馬車はトラックに變り人力車はタクシーに、ランプは電燈に、そして人々の勞働力は近代科學のバケモノである機械のために其の應用範囲が押せばめつある。

又、僕達の野良で働く姿を見るといい、淺黄の股引はセイラーズに變り、地縞の野良着は白いシャツか、若くはガッシリした洋服に變られたではないか。然しながら今日の僕は純ければ、これも又急速度に都會化しつつある農村民の生活に何等の矛盾を感じなくなつた。

トランク、自転車、リヤカー、ハーモニカ、セラズボン、洋服、テーブル、椅子と斯う云ひ出したら制限がないが、これ等文化的色彩を持つ器具を農民生活の中へ取入れ、それ等の効果を高め農安樂を求めるに何の不思議があらうか。僕はこれを一つの農村生活様式の向上であり近代文化潮流に順應した、當然かく信するのだ。

何が僕をそう思索させたか！元來僕は、お多分にも配され溶さうにも溶されぬ重農主義的イデオロギーに固つて農民至上主義者であつたのだ。

時々讀書百遍義旨見る（魏略）代成就するものでなくこれと反対熟習するときは如何なる難き學業（必ず成し遂げ得らるものである）

農業者は近代文化の恩恵に浴する少しが少い

農業は近代文化の恩恵に浴する少しが少い

農業者たゞの望みなどして頂けると思ふ

×

植田から

×

植田口政子

×

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

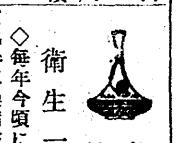
○

# 常磐鐵業會からも陳情

炭界

今後の運命を支配する  
運賃引下げ運動漸く眞剣化す

二七三	磐崎四九七	上
遠野二九一	入遠野一四	
三	田人六八	荷路夫四
九	石住一	見泊一〇
川部四一三	勿來一、五	一、五〇八
四	渡邊四九	泉一、八
三〇	玉川五八	小名瀬



投書

豫想する二十五日の好試合

田村中學對平野球戰

磐中野球戰

田村中學對平野球戰

磐中野球戰